

「根尖病変」「骨縁下欠損」「エンド・ペリオ病変」を網羅した
歯科治療の基本である歯内療法と歯周治療の解説書！

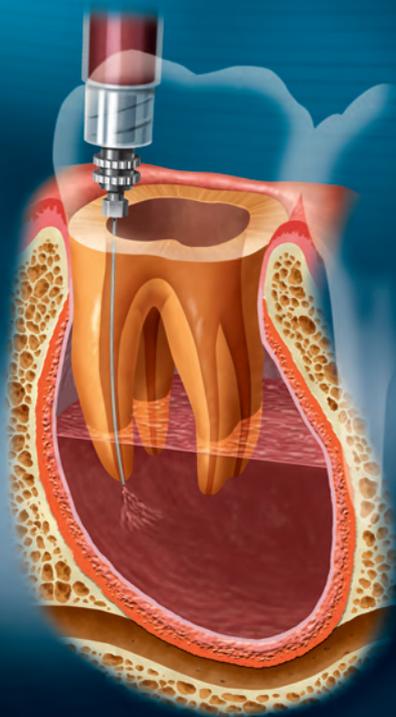
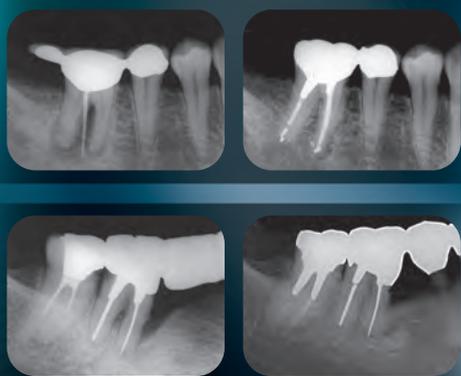
下川臨床の決定版！

長期経過症例から紐解く 根尖病変と骨縁下欠損

その傾向と対策

Treatment Trends and Measures of Periapical Lesion and Infrabony Defect :
Lessons from Long-Term Follow-Up

監著 下川公一 著 倉富 覚、



QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社



下川公一



推薦の言葉

「約50年の臨床経験から生まれた長期経過症例の解説だけでなくColumnも充実！」

河原英雄



推薦の言葉

「下川臨床を丁寧に伝える歯内、歯周療法の実践の参考書」

糸瀬正通

著者・下川のライフワークというべき「根尖病変と骨縁下欠損の治療」のノウハウを、50年に及ぶ臨床経験から生まれた多数の20年以上の長期経過症例とともに丁寧に紐解いた1冊。「予知性のある治療」を臨床家としての目標に掲げてきた氏の「こだわり」の術式や考え方、メンテナンス法が満載！ また、本書に散りばめられた13のコラムは、歯科の未来を背負う若手歯科医師の指針となる。

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●336ページ ●定価 本体26,000円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

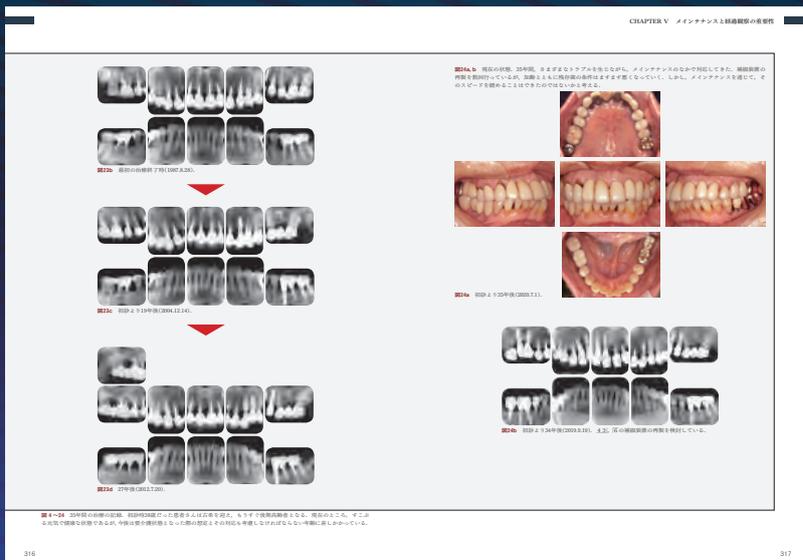
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



Chapter V メンテナンスと経過観察の重要性

1. メンテナンスの重要性
2. 長期経過より学ぶメンテナンスの重要性
骨縁下欠損、根尖病変、全顎治療の35年ケース



筆者は治療終了時に患者さんにこう告げる。

「治療が終了した現在が、治療の成果としてもっとも良い状態であり、あとはどうしても徐々に条件は悪くなっていきます。その悪くなるスピードをいっしょに遅くしていきましょう」と。

そのような自信のないことを言えば、患者さんに逃げられてしまうと思う読者もいるだろうが、患者さんとともに現実を直視し、口腔内の状態を維持していくという覚悟を示すのである。この点を、治療開始時点から患者さんと術者が共有しておくことが、無用なトラブルを回避する策であり、メンテナンスの大前提となる。

治療の永続性のカギとなるのが、歯内療法と歯周治療である。これらの基本治療をないがしろにして、いかに良い補綴装置を製作できたとしても、それは砂上の楼閣に過ぎない。
(「はじめに・下川公一」より)

下川 公一 福岡県開業

[Profile]

- 1968年3月 福岡県立九州歯科大学卒業
- 1973年7月 北九州市小倉北区開業
- 1991年4月 平成3・4年度日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
- 1993年4月 福岡県立九州歯科大学口腔病理学教室非常勤講師
- 1999年4月 平成11・12年度日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
- 2004年9月 福岡県立九州歯科大学臨床教授
- 2005年4月 平成17年度日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
- 2019年12月 逝去

【主な所属・役職】
北九州歯学研究会会員／日本審美歯科協会会員／経基臨塾主宰



倉富 覚 福岡県開業

[Profile]

- 1996年3月 九州大学歯学部卒業
- 医療法人下川歯科医院勤務を経て
- 2003年2月 北九州市小倉南区開業
- 2018年4月 九州大学歯学部臨床教授

【主な所属・役職】
下川公一臨床セミナーインストラクター
北九州歯学研究会会員／日本審美歯科協会会員
経基臨塾／日本顎咬合学会副理事長・かみあわせ指導医
日本歯周病学会歯周病専門医
日本臨床歯周病学会認定医・歯周インプラント認定医／日本歯内療法学会会員



きりとり線

注文書

長期経過症例から紐解く根尖病変と骨縁下欠損 その傾向と対策

モリタ商品コード:208040757

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。